

(別紙様式 1)

あいさつ運動の好事例

玉野市立玉小学校

(児童数 122名 教職員数 18名)

「あいさつをしましょう」は玉中学校区の合い言葉
～ 学校・家庭・地域の連携の取組 ～

アピールポイント

- ・毎月、県下一斉あいさつ運動に合わせて、各学年が分担して校門であいさつ運動。
- ・「中学校区あいさつの日」を設定し、中学校区教職員合同のあいさつ運動。
- ・毎月第1月曜日、学校支援ボランティアによる「おはようデー」のあいさつ運動。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

自分から進んで大きな声であいさつする児童が徐々に増えてきている。

■活動内容

各学年が月ごとに受け持って、校門でのあいさつ運動を実施している。学年によっては、呼びかけの垂れ幕を用意したり、手製のたすきを掛けたりするなどの工夫をこらしている。10月には、1年生が初めて受け持った運動になり、並び方や立ち方、あいさつの仕方などを指導してもらいながら取り組んだ。本校の児童だけではなく、学校前を通る、地域の方や中高校生にも声をかけている。

「おはようデー」は、学校支援ボランティアからの提案で昨年からはまったが、毎回10名弱の方が校門前を中心に、登校時間に合わせてあいさつをしてくださっている。

■取組の参加メンバー

学校支援ボランティア、地域スクラム隊、保護者、全校児童、玉小学校教職員

■成果・効果

自分から進んであいさつをする児童が増え、あいさつの声も大きくなっている。また、児童などからのあいさつに答えるだけでなく、自分からあいさつをする中高生も増えている。